活動日誌から

● 議会と町民との意見交換会

議員を３班に分けて 12 箇所で行いました。参加者は少なかったのですが、率直なご意見をいただきました。出された意見は執行部への聞き取りなどを行い、必要なものは政策提言として町へ渡しました。（１月には町からの見解が示されます）

● 自治体議員政策情報センター全国政策研究集会

新潟国際情報大学を会場に行われました。今年のテーマは「分断と差別から共生と連帯社会へ」で、神野直彦さん（日本社会事業大学学長）の「『分かち合い』の財政で地域再生を実現する」という基調講演。そして「共生と連帯社会をどうつくりあげるか」のシンポには米山隆一新潟県知事も参加。

● 文教厚生委員会、給食試食

文教委員会のメンバーで、学校給食の試食に中学校へ。なかなかのボリュームでした。食べる時間が少し短いなあと感じたのは歳のせいか…。

● 文教厚生委員会視察

徳島県神山町には芸術とまちづくり、美馬市には小地域ケアを中心とする福祉の取り組みの研修に。急な依頼にも関わらず、NPO 法人「グリーンバレー」、美馬市社協のみなさんには大変お世話になりました。

● 阿波視察

吉備中央町の皆さんの視察にご一緒させていただき「あば村宣言」をして新しい自治を目指している阿波へ。ガソリンスタンドの復活や買い物難民対策に取り組んでいます。高校同期の U 君が町おこしを頑張っていた阿波にようやく行くことができました。

● 特養新宅運営推進会議

母親のお世話になっている特養「新宅」では２ヶ月に一回「運営推進会議」を開いています。今回は「おしめ講座」。多くの種類のオシメが販売されており、かつメーカーによって最適な付け方が異なっているということでした。

■後記　9 月 12 月と二つの議会の報告となってしまいました (-.-;) 。 夏、高校時代の友人と姫路から赤穂へ。赤穂で海の見えるカフェに入ると、何と「鏡野珈琲」ならぬ「鏡野穀琲」が。播磨地域の黒薬豆に鏡野の黒文字（薬樹）をブレンドした「穀物滋養珈琲」です。思わぬところで、鏡野頑張っていたんですね。

日々の動き

8月
- 4日　岡山県町村議会議員研修会
- 5日　鏡野町納涼祭
- 8日　**議会と町民との意見交換会**（8・9・22・23 日）
- 18、19 日　**自治体議員政策情報センター全国政策研究集会**（新潟市）
- 23 日　鏡野町学校給食共同調理場運営委員会
- 25 日　議会運営委員会
- 26 日　南小資源回収、鏡野町ボランティア・NPO フェス
  津山市国際交流 NPO マネジメント講座

9月
- 3日　鏡野町産業祭り
- 4日　９月定例会議初日（～ 29 日）
- 6日　議会 質疑
- 9日　鏡野中学体育祭
- 10 日　真加部地域農業研究会
- 13 日　議会 一般質問
- 16 日　香々美小運動会
- 18 日　南小、富地区合同運動会
- 19 日　鶴喜保育園・鶴喜小運動会、上斎原地区運動会
- 20 日　総務委員会傍聴
- 22 日　**文教厚生委員会、給食試食**
- 23 日　奥津小運動会
- 25 日　産業委員会傍聴
- 27 日　農家民宿説明会
- 29 日　議運、議会最終日
- 30 日　鏡野町敬老祝賀会、中央こども園運動会

10 月
- 1日　芳野こども園、郷幼稚園運動会
  （10 日、衆院選公示　22 日、投票）
- 12 日　鏡野町人権教育推進委員会
- 22 日　真加部秋祭り
- 23 日　自治体議員政策情報センター 国会内勉強会
- 24 日　全員協議会
- 28、29 日　中国地方反原発反火電連絡会議（広島）
- 30 日　議運
- 31 日　全員協議会

11 月
- 3日　憲法集会
- 6、7日　**文教厚生委員会視察**（徳島県神山町、美馬市）
- 8日　岡山県町村議研修・交流会
- 13 日　議運
- 16 日　手をつなぐ育成会
- 19 日　鏡野マラソン
- 20 日　文教厚生委員会
- 24 日　議運
- 27 日　全員協議会
- 28 日　**阿波視察　→**
- 30 日　国保運営協議会

12 月
- 4日　12 月定例会議初日（～ 22 日）
- 5日　芳野こども園生活発表会
- 6日　議会 質疑、香々美発電所見学
- 13 日　議会 一般質問
- 14 日　真加部地域農業研究会 鳥獣害対策研修
- 15 日　総務委員会傍聴
- 16 日　おかやまいっぽん集会
- 18 日　文教厚生委員会
- 19 日　産業委員会傍聴
- 22 日　議会 最終日、議運
- 23 日　恩原高原スキー場開き
  津山国際交流の会フェアトレード講演会
- 27 日　**特養新宅運営推進会議**

光吉ひとし 鏡野町議会レポート

708-0335　岡山県苫田郡鏡野町真加部 379
T&F 0868-54-2345
h-mitsuyoshi@wi.kualnet.jp　http://kagamino.org

No.3
2018.1

協働のまちづくりのために
住民に使いやすい行政情報を

一般質問の「通告」は大項目、中項目、小項目に分けて提出することになっています。「大項目」は議会質問の最も基本的な考え方を示すものだと思いますが、私の９月、12 月会議の大項目はどちらも「住民との協働で持続可能なまちを」でした。

９月会議では「鏡野町輝くまちづくり基本条例」（2P 参照）の考え方を元にして、予算編成過程への住民参加を質問しました。そして 12 月にはホームページの活用や、行政情報をもっと身近なものにすることを求めました。

まちづくりは行政だけでできることではなく、住民とともに進めることが不可欠だからです。そして協働の基礎には行政情報が住民に共有されていることが必要です。

ところが様々な行政の情報が住民からとても遠い…。町のホームページは、今日では世界に開かれた町の窓口ですが、同時に町民にとっては日常的に様々な行政情報にアクセスする入口でもあります。

しかし残念ながらとても使いにくいものになっています。また利便性だけでなく、必要な情報がアップされていないという基本的な問題があります。様々な分野の基本計画や、審議会の資料や議事録…自分たちの町の現状を知り、明日の町を一緒に考えていくための基礎資料がアップされていません。これでは協働のまちづくりは進みません。（新年度から議会にタブレットが本格導入されますが、タブレットへの各種計画のアップも進んでいません）

これは全庁的な課題であり、情報の共有をさらに求めていきます。

移動スーパーとくし丸がやってきた。６月会議で「住民の移動手段の確保」で「買い物難民」についても取り上げましたが、移動スーパーが広がってきています。

9・12 月会議の概要

● 9月会議

H28 年度決算が認定されました。
（一般会計及び特別会計、企業会計）
H29 年度補正予算が可決されました。
（一般会計：災害復旧費、中央公民館改修事業費など 3 億 256 万 9 千円）
（特別会計：国民健康保険、介護保険など）
陳情　採択：「全国森林環境税の創設に関する意見書採択」に関する陳情

● 12 月会議

条例の制定　可決：鏡野町下水道事業の設置等に関する条例など
条例の改正　可決：町職員の給与に関する条例の一部改正など
H29 年度補正予算（一般・特別会計）が可決されました。
（戸籍住民基本台帳臨時管理費、林業振興臨時管理費など 17 億 1452 万 8 千円）
請願
　採択：教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書
　採択：日本政府に核兵器禁止条約の調印を求める意見書採択を求める請願
　一部採択：３つの安心～暮らしの安心・子育ての安心・老後も安心～を求める請願

※９月会議からの継続審査になっていた「教職員定数の改善」請願が採択されました。議会基本条例は、民意を直接聴取し、議会を活性化する手段として公聴会、参考人制度の活用を期待していますが、委員会に参考人の方に来ていただきました。「核兵器禁止条約」の意見書は昨年７月以降、少なくとも 113 の地方議会で可決され衆参両院に提出・受理されています。

資料：鏡野町輝くまちづくり基本条例
平成 26 年 12 月 22 日
（定義）第２条
(8)　参画　町民等が町に対して計画段階等から意見を述べ、提案することにより、町政を推進することをいう。
（まちづくりの基本理念）第３条
(3)　町民等及び町が、互いの情報を共有し合うことにより、相互の参加及び参画を図りながらまちづくりを進めるものとすること。
（町民等の参画推進）第８条
(1)　政策を形成する段階から、行政情報を分かりやすく提供し、町民等からの意見を受け止めるとともに、町民等が町政に多様な形態で参画できるための仕組みを整備すること。

リサイクル率のアップとゴミのふれあい収集

ごみの分別と出し方が変わって２年が経とうとしていますが、リサイクル率はアップしておらず、町の一般廃棄物処理基本計画が掲げる目標値を達成するのは困難です。（2012 年度実績 14.3％→ 2019 年度目標 33.5％）　計画の最終年度 2029 年度の目標値は 34.1％で、ほぼ 10 年間リサイクル率を上げないという計画です。循環型社会のイメージをふくらませ、そこに向けて具体的な行動を組み立てていくことが必要です。（なお施策評価シートで一時期採用されていたリサイクル率は、2012 年度評価からは削除されています）

また高齢化が進む中、ふれあい・助け合い収集の積極的な取り組みを提案しました。

9・12 月会議の質問項目

● 9月会議

住民との協働で持続可能なまちを
１、永続地帯をまちづくりの核として活かそう
・ポテンシャルを実力へ
「永続地帯」をまちづくりの核としていこう
・「エネルギー政策を通して、地域経済を活性化する」視点を
・環境教育でも活用を
２、ヘルプカード、ペルプマークの導入を
３、予算編成過程への住民参加
・予算編成過程で、住民への説明と意見交換の場の設定、パブリックコメントなどの実施を

● 12 月会議

住民との協働で持続可能なまちを
１、ホームページの活用で町の内外に積極的な発信を
・現状の課題は
（リンク切れ、新着情報が下にある、必要な情報が見つからない…）
・改善に向けて
：住民からの意見を取り入れる仕組みづくりを
：若手職員、専門家の活用で、改善計画を
：高齢者や障がい者、外国人にも使いやすい HP に
：スマホ対応を進める
：フェイスブックなどの活用を
２、行政情報は住民にとって使いやすいインフラであるべきです
・行政情報（現行計画や会議録）が HP にアップされておらず非常に不便な現状がある。現在のアップ状況は
・今後は現行の計画はすべて HP にアップを
・審議会などの資料、議事録もアップを
・図書館、公民館でも行政情報をまとめ、手に取りやすいように工夫を
３、ゴミ収集について
・ごみの分別と出し方が変わって一年８ヶ月、リサイクル率、ゴミ量の変化は
・リサイクル率をあげ、ゴミ減量を進める対策は
・ふれあい、助け合い収集が必要では

永続地帯を活かそう

議論がかみ合わず残念だったのですが、永続地帯をまちづくりの核として活かすことを提案しました。鏡野町は、食料もエネルギーも、必要な量を地域内で生み出している〈永続地帯〉です。1,700 ほどある市町村の中で、永続地帯とされる自治体は、わずかに 39。地球温暖化に伴う気候変動で、異常気象が当たり前のようになっている今日、そして TPP のようにグローバル化の波が地域を覆っているとき、地域で食料もエネルギーもまかなっていけるというのは、大変な強みです。「永続地帯・鏡野」をまちづくりの核に据えてまちづくりをと引き続き提案していきます。

ヘルプマークが導入されました

配慮を必要としていることが外見からは分からない人工関節などを使用している方、内部障害や難病の方、また妊娠初期の方が、周囲の方に配慮が必要なことを示すマークです。
（「広報かがみの」１月号から）
９月会議で取り上げましたが、鏡野町でも始まりました。詳しくは町福祉課 福祉係へ。
電話（0868）54-2986

■ これからの予定
２月 14 日　２月会議
３月　５日～　３月会議